

合併協議経過報告

【報告者】行田市助役 金子 眞 久（合併協議会委員）

平成16年5月10日に南河原村の小暮村長及び中戸議会議長から、横田行田市長並びに吉田議会議長に対し、行田市との早期の合併推進を要望する旨の「行田市・南河原村合併推進に関する要望書」が提出されました。

ご案内のとおり、行田市と南河原村は以前から住民生活において共通の日常生活圏を形成し、歴史的、地理的、文化的にも一体感があるところでございます。また、行政におきましても従来から、ごみ処理や介護保険、更に教育では行田班として、様々な分野において、一体的な広域行政を展開してまいりました。

市町村合併の必要性は、地方分権の対応、少子高齢社会への対応、行財政改革、生活圏の広域化への対応などが挙げられますとともに、将来に備えた自主・自立のまちづくりにおいても必要であるとの認識から、両市村で検討し、平成16年7月28日に行田市並びに南河原村の臨時議会において、合併協議会設置議案の議決をいただき、同年8月1日に『行田市・南河原村合併協議会』を設置いたしまして、合併協議を開始いたしました。

以来本日まで、埼玉県を初めとする関係皆様方のご指導、ご支援をいただきながら、協議会7回、新市建設計画策定小委員会3回をそれぞれ開催いたしました。協議会では、合併に係る26の協定項目や新市建設計画案について、委員の皆様の一つ一つ慎重にご審議を重ねていただき円滑のうちに協議が進みました。去る2月1日には新市建設計画を決定いただき、合併に関する協議をすべて終了いたしましたことから、本日にここに合併協定書の調印式を晴れて迎えることができたものでございます。

以上が合併協議の経過並びに結果でございます。